

AVX-10K 拡張 COMMS とヘッドセットアダプター

多くの場合、無線通信試験の要件として、管制塔と双方向通話を行い、通信の明瞭度チェックをする必要があります。この試験は、航空機の通信機能の動作確認、および音声の明瞭度が十分であることを確認します。問題点として、管制塔に常時人員が配置されているとは限らないこと、試験を実施する技術者が送信すべき周波数を知らない可能性があること、または空港の運用業務に干渉する恐れがあることです。また、これは出力電力が特定の管制塔に届くことを確認するだけなので、長距離通信では不十分となる可能性があります。



COMMS ヘッドセット

AVX-10K にヘッドセット
アダプターを接続

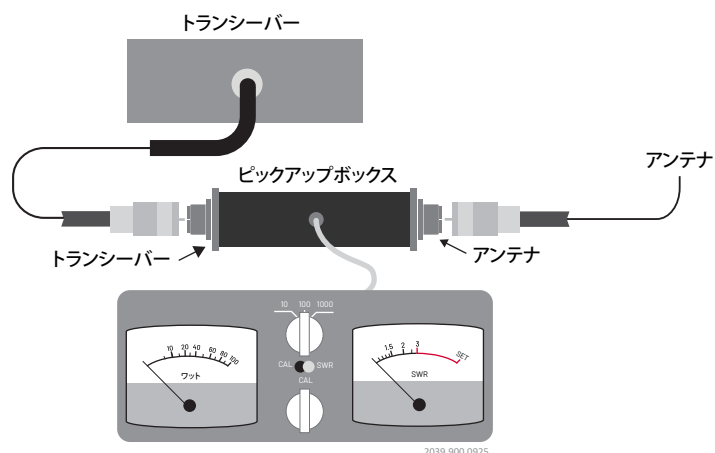
固定翼および回転式/
軍用ヘッドセットに対応

拡張 COMMS ソフトウェアオプションとヘッドセットアダプターを組み合わせることで、ユーザーは従来のテストよりも効率的に運用チェックを行うことができます。このヘッドセットアダプターは、航空機で一般的に使用されているハイインピーダンスおよびローインピーダンスのヘッドセット用のデュアルプラグとシングルプラグの両方に対応しています。

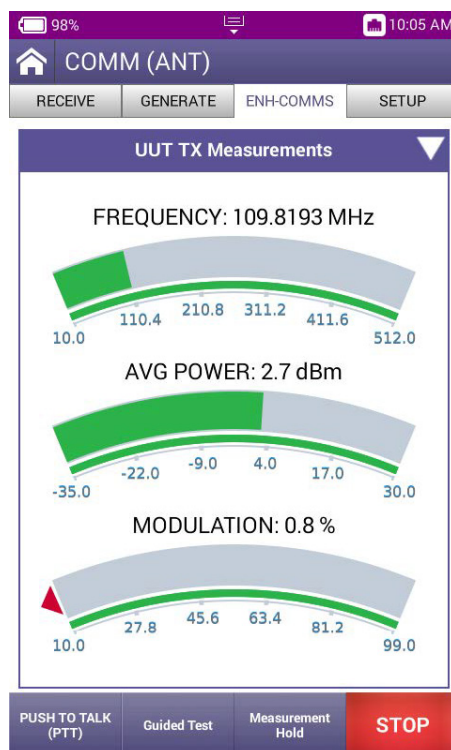
作業者は、航空機と AVX-10K の間で双方向無線通信を行うことができます。ハンディ型無線機と異なる点は、電力レベルを測定することができるため、航空機が長距離で送受信するのに十分なレベルで通信できていることを確認できることです。

COMMS パワーレベルチェックは、以下の手順で実施することが可能です。

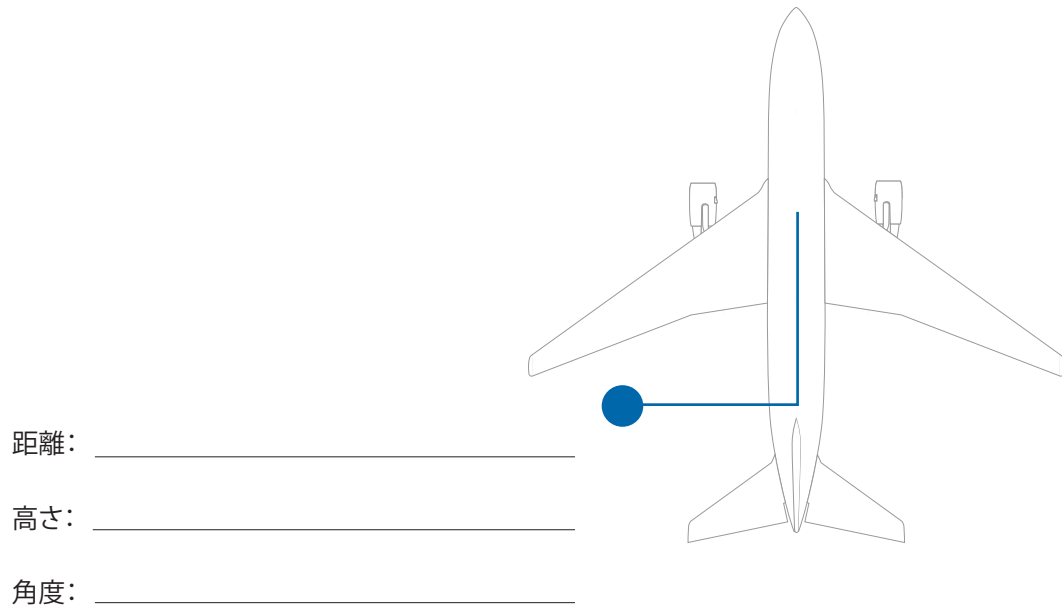
1. 航空機と同軸ケーブルとアンテナの間にワットメーターを直列に接続してください。



2. 送信中に、試験対象機器の仕様に基づいた期待値が表示されていることを確認してください。
3. COMMS システムをアンテナに再接続してください。
4. 航空機と AVX-10K ENH-COMMS オプションを同じ周波数に設定してください。



5. AVX-10K を試験対象機器のアンテナ近くの見通しの良い位置に配置してください。その後、伸縮式アンテナを完全に伸ばし、航空機からの送信中に平均で 0～+10dBm のパワーレベルを受信できる場所を探してください。
6. 試験対象機器と AVX-10K の正確な距離、高さ、角度を以下の空欄に記録してください。



7. この位置では、受信電力が安定して再現されるため、同一機種・モデルの航空機の試験に利用することが可能です。
8. 最も正確な結果を得るためには、同一機種・モデルの複数の航空機の平均位置を基にし、さらに複数の周波数帯を使用して位置を決定する必要があります。



〒163-1107
東京都新宿区西新宿6-22-1
新宿スクエアタワー7F

電話: 03-5339-6886
FAX: 03-5339-6889
Email: support.japan@viavisolutions.com

© 2025 VIAVI Solutions Inc. この文書に記載されている製品仕様および内容は
予告なく変更されることがあります

viavisolutions.jp

avx10k-enhancedcomms-an-avi-nse-ja
30194696 900 1025